

# 別府市立緑丘小学校

## <学力向上プランの概要>

### 【授業改善】

- ① 児童につけたい力を把握し取り組みの指標の設定を行う。そして、子どもの実態に即した、「学ぶ意欲を引き出す課題」、「伝え合う場が工夫された問題解決」を行い、それを短期に検証しながら質の高い授業を目指す。

### 【補充学習】

- ② 重点指導項目を明確にした補充指導を朝・放課後・休み時間及びスキルタイム(みどりタイム)に実施し、基礎基本の定着を図る。

### 【家庭学習】

- ③ 「家庭学習のてびき」にそって、家庭学習の時間の確保と習慣化を図り、提出状況や理解度を毎日のチェックで把握し、子どもの実態に応じて個別指導等を行う。

## <効果のある取組事例>

- ① 全教職員が、全学級で「緑丘の学習過程」をベースにした『授業改善5点セット』に取り組み、「学ぶ意欲を引き出す課題」と「伝え合う場が工夫された問題解決」を設定した授業を目指す。
- ② 授業規律・授業の質については、毎月セルフチェックをして、自分の授業を振り返り、改善していく。
- ③ 毎日、静かな朝読書10分間の完全実施と放課後のスキルタイム(みどりタイム)を設定し、重点指導項目を中心に補充指導に取り組ませる。  
※問題データベース、学習探検ナビプリント、フォローアップシート等を活用する。
- ④ 年6回のチェックテストを実施し、子どもの弱点の把握と補充により、基礎基本の定着を図る。  
※明らかになった弱点は、長期休業中の宿題として出し、定着を目指す。
- ⑤ 毎日、家庭学習の提出及び理解状況をチェックして指導する。内容については「家庭学習のてびき」に設定した学習時間に応じているかを考慮し、工夫して出すようにする。

## 【セルフチェック】

月に1回の検証・改善を行う。(授業改善5点セットに沿って、セルフチェック行う)

		1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	5-1	5-2	6-1		
学力向上	授業規律	「人の話は、最後まで黙って聞く」指導を徹底しているか												
		「時間を守る」(始業・終了・5分休みの使い方)の指導を徹底しているか												
	①下位層(60点未満)の割合を年度内に半減	授業の質	『録の学習過程』に沿った学習展開をしているか											
			学ぶ意欲を引き出す課題作り、そのための導入の工夫をしているか											
			自分の考えを書き、それを伝え合う場を工夫した問題解決的授業に努めているか											
		②単元末テストで平均以上7割	家庭学習	自分の授業を記録(ノート・板書等)や子どもの振り返りを分析して授業改善に反映しているか										
				互見授業を積極的にやっているか										
				朝読書10分、みどりタイム10分の時間確保ができているか										
	③学力調査で、国・県との平均正答率の差が3ポイント以上	家庭学習	みどりタイムでは、基礎基本定着に絞った指導に努めているか											
			週1回は、「活用型の問題」に取り組ませているか											
			チェックテストを実施し、重点指導項目を明らかにして指導を行っているか(みどりタイムや長期休業中課題)											
			「家庭学習のてびき」を意識した指導(時間・宿題の内容・量)を行っているか											

## 【チェックテスト】

1学期初め→1学期末→2学期初め→2学期末→3学期初め→学年末(年6回実施)

令和元年度 【国語】チェックテスト結果 一覧表

### ★本年度の学力向上に係る達成指標

- ①下位層(60点未満)の割合を年度内に半減する。
- ②チェックテストで、テストの平均点以上の子どもを7割以上にする。
- ③学力調査(国・県・市)において、国・県の平均正答率との差を3ポイント以上にする。

(年組)

正答率	0～	20～	40～	60～	80～	平均点以上の児童割合
1学期初め 【平均正答率 %】						
1学期終わり 【テスト平均点】						
2学期初め 【テスト平均点】						

1・2年は国語・算数 3～6年は国語・算数・理科で行っている。